

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉東小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

・国語の平均正答率は、ほぼ全国と同程度です。特に、「漢字を文の中で正しく使うこと」に高い定着が見られます。また、『話すこと・聞くこと』の項目では、「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを捉えることができる」についても高い定着が見られることから、日ごろからの継続した取組の成果が見られます。一方で、『書くこと』では、「自分の考えをまとめる、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」について課題が見られます。

・算数の平均正答率は、全国と比べて高い結果となりました。特に、『変化と関係』の項目では、「伴って変わる二つの数量について、表からの変化の特徴を読み取ること」について高い定着が見られます。また、「数と計算」の乗法の計算の仕方が身についています。更に、『データの活用』では、「グラフや表から必要な数を読み取る力」も高い定着が見られます。一方で『図形』では、正方形の特徴は理解しているものの、正三角形の特徴の理解については、課題が見られます。

・国語、算数ともに学習に対する意欲が高いです。本校の子どもたちが、真面目に学習に取り組んでいる姿がうかがえます。一方で、回答が記述式になると、決められた文字数で自分の考えを書くことに課題が見られます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向が認められる項目

「朝食を毎日食べていますか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」「先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思いますか」

「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つと思いますか」について高い数値を示しています。

・課題となる項目

「新聞を読んでいますか」「学校が休みの日に図書館を利用しますか」についてほとんどの児童が読んでいないまたは利用していませんでした。「学校の授業以外に普段（月曜日から金曜日）1日当たり1時間以上読書をする」「学校の授業以外に1時間以上勉強をする」と答えた児童の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・『書くこと』の学習では、文章の内容や相手との考えを比べて、自分の考えをまとめるような活動を取り入れることによって、子どもたちの考える力、判断する力、表現する力を育てます。
- ・『図形』の学習では、図形の感覚を豊かにするために、実際に具体物を操作して考えるような活動を取り入れていきます。
- ・一人一台端末やデジタル教科書を日常的に使うなど、ICT機器を活用した授業づくり及び、授業に新聞活用を取り入れるNIE教育の推進に取り組みます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習のすすめ」を活用し、時間を決めて毎日学習する習慣をつけさせましょう。
- ・親子で会話を積極的に行ったり、学校や地域の図書館を利用して一緒に親子で読書したりするなど、お子さんと一緒に活動する機会をつくるようにしましょう。